

報道発表資料

2016年9月21日

テクトロニクス、光変調アナライザのソフトウェア強化を発表

マルチチャンネル光伝送システムの最先端コヒーレント研究に対応

テクトロニクス(代表取締役 米山 不器)は、本日、光変調アナライザ(OMA)ソフトウェアの強化を発表します。最新のリリースでは、一つの測定システムでマルチチャンネルのコヒーレント変調方式の検証が可能になります。複数の OMA の校正、制御が行え、異なった波長、ファイバのコア径など、複数チャンネルからのデータを簡単に取込み、同時に解析することができます。

テクトロニクス、パフォーマンス・オシロスコープ、ジェネラル・マネージャのブライアン・ライク(Brian Reich)は、次のように述べています。「今回発表する OMA ソフトウェアの新しいリリースは、QAM または DP-QPSK などの最先端のコヒーレント光通信、ネットワーク技術の開発エンジニアによるマルチチャンネルのテスト作業を改善します。複数の OMA システムのセットアップに要するコストを抑え、複数の OMA ハードウェア・システムからデータを受け取ってから、校正し、同期するまでの時間を短縮します」

今回のリリースには新しいビジュアル OMA セットアップ・ツールが含まれており、オシロスコープとコヒーレント・レシーバのフロントエンドの再構成が行えるため、同じハードウェアで PAM4 の研究、DP-QPSK テストにおけるチャンネル数の増加など、さまざまなアプリケーションに対応できます。

空間(モーダル)分割多重化の使用により、マルチチャンネル・コヒーレント研究のニーズは高まっており、OMA はチャンネルごとのデータのダウン・コンバート、デジタル化が求められます。マルチキャリア通信アプリケーションでも、波長分離が OMA の帯域以上の場合、波長チャンネルごとに 1 台の OMA が必要になります。

ダウンロードについて

今回発表する OMA ソフトウェアは、2016 年末までにテクトロニクスのウェブサイトからダウンロード可能になります。詳細についてはこちらのページをご覧ください。

<http://www.tek.com/application/tektronix-coherent-optical-solutions>

テクトロニクスについて

米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、お客様の問題を解決し、詳細の理解を深め、新たな発見を可能にする、革新的で正確かつ操作性に優れたテスト／計測モニタリング・ソリューションを提供しています。テクトロニクスは70年にわたり電子計測の最前線に位置し続けています。

ウェブサイトはこちらから。 jp.tek.com

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL jp.tek.com

報道関係者からのお問い合わせ先

テクトロニクス 広報室 瀬戸

電話: 03(6714)3097 Fax: 03(6714)3667

Email: atsuko.seto@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc.の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。